

釜石市高齢者保健福祉計画・第7期釜石市介護保険事業計画（素案）の概要

1. 計画の基本的事項

■計画策定の趣旨

介護保険法改正の趣旨を踏まえ、これまで取り組んできた施策や方向性を引き継ぎつつ、地域住民や関係機関等と連携を強化しながら各種施策を進めていくことを目的として策定する。

■計画の位置づけ

- ・老人福祉法第 20 条の 8 第 1 項に基づく「老人福祉計画」と、介護保険法第 117 条に基づく「介護保険事業計画」を一体的に策定したもの。
- ・「釜石市復興まちづくり基本計画」を上位計画とし、各部門の諸計画との整合性を図りながら取り組みを進めていくための計画

■計画の期間

平成30年度～32年度（3年間）

2. 現状と課題

- 高齢者（65歳以上）人口は約1万3千人で高齢化率は過去最高の37.5%となっています。（H29.10.1）
- 高齢者のうち79.6%が要支援・要介護認定を受けずに生活していますが、20.4%が要支援・要介護認定を受けて何らかの介護が必要な状態となっています。
- ニーズ調査によると、介護が必要になった場合でも、引き続き住み慣れた地域で在宅生活を続けることを多くの高齢者が望んでいます。
- そのため、在宅生活の継続に向けて「健康づくりや介護予防」「地域での支え合いによる生活支援」といったニーズが強くなっています。
- 健康づくりや介護予防に関しては、介護予防教室や健康教室などを開催してきましたが、情報提供の工夫や各種教室終了後の受け皿となる通いの場づくり、地域に即した住民主体の通いの場づくりを進めることが重要です。
- 地域での支え合いや生活支援に関しては、これまで介護保険サービス等で対応してきましたが、高齢者の単身世帯や夫婦のみ世帯の増加等を背景に、家事や見守り、ゴミ捨てなどの介護保険サービスでは補完が難しい支援の必要性も出てきています。
- 高齢者の多様なニーズに対応していくことができる仕組みづくりが重要になっています。

3. 基本理念

誰もが、住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活を続けることができるまちづくり

～閉じこもり予防戦略と安心戦略～

◆基本理念の趣旨◆

高齢者の日々の暮らしや、それを支える様々な活動では、人と人の支え合いや地域でのつながりが大切です。本市では、この考え方にに基づき、高齢者を含むすべての人たちが健康ではつらつと暮らすことができるように、地域包括ケアシステムの深化に向けた取り組みを推進していきます。

4. 計画の基本施策

基本施策① 地域包括ケア体制の深化・推進

○団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年に向け、支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい及び生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図ります。

基本施策② 安心できる生活の実現

- すべての高齢者が可能な限り在宅で暮らし続けられるよう、見守り支援や福祉サービス、高齢者の権利擁護など関係機関との連携を図り取り組みを強化していきます。
- 家族による介護負担が大きくなりすぎないよう、精神面や身体面、経済面ともに支えていくことができるよう取り組みます。

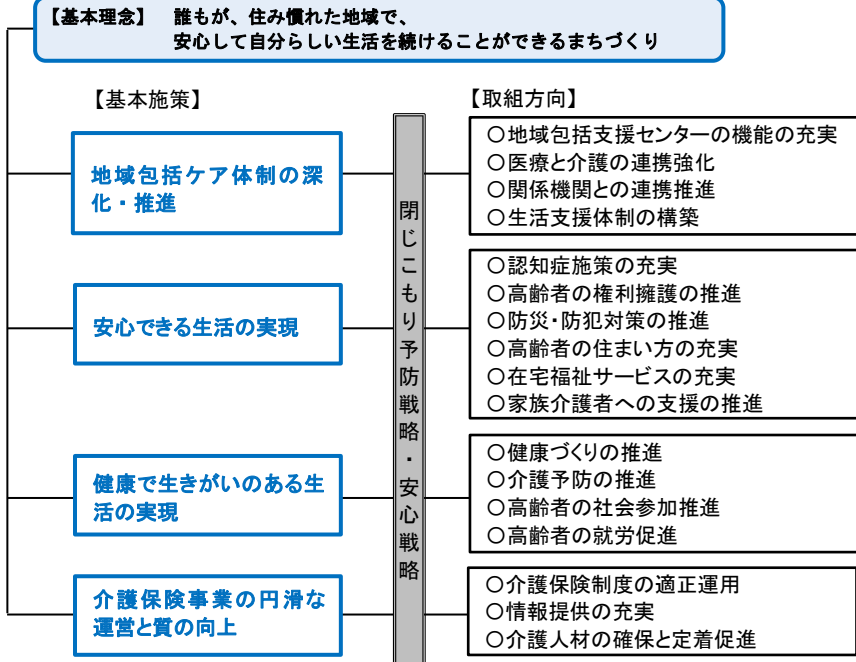
基本施策③ 健康で生きがいのある生活の実現

- 高齢者が生きがいや家庭・地域での役割を持ち、より多くの人と交流を持てるよう、高齢者の社会参加や就労を支援します。
- 高齢者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、健康増進や自立支援・重度化防止に向けた取り組みを進めます。

基本施策④ 介護保険事業の円滑な運営と質の向上

- 安心して介護サービスが利用できるよう、介護サービス事業者への指導・助言等を行いサービスの質の向上に努めるとともに、介護人材の確保に取り組むことでサービスの量的な充足を図ります。
- 適正な要支援・要介護認定に努めるとともに、介護給付の適正化に努めます。

5. 施策の方向



6. 「閉じこもり予防戦略」と「安心戦略」

本市では、「地域包括ケアシステム構築に向けた行政・住民・医療介護・福祉のあり方についての提言」として東京大学高齢社会総合研究機構から平成 28 年に2つの戦略を含めた提言を受け、平成 37 年(2025 年)を見据えた行政・住民・医療介護・福祉のあり方について協働で検討を進めてきました。

この流れを受け、本計画期間中に本市では、基本施策を実現するための取組みとして「閉じこもり予防戦略」と「安心戦略」を推進します。

閉じこもらない明るいコミュニティづくり戦略(閉じこもり予防戦略)

社会と繋がることが高齢者の自立度低下、虚弱化の予防に効果があることから、日常生活圏ごとに高齢者が家に閉じこもらず地域の支えあいによるまちづくりを目指します。

虚弱化しても地域で安心して暮らし続けるまちづくり戦略(安心戦略)

虚弱化しても地域で安心して住み続けられるよう、在宅医療の普及とあわせて、日常生活圏ごとに高齢者への在宅サービスの提供体制を整え、「在宅生活の限界点」を引き上げるまちづくりを目指します。